

一般質問



就学援助制度の拡充を

問 制度運用の現状と課題を聞きたい。

答 小中学生の約1,200名、約15%に就学援助を実施してい

る。子どもの貧困対策の観点から、制度拡充の検討の必要があるが、財源確保が大きな課題と考える。

問 新入学用品費の3月支給を実現すべきだと思うが。

答 3月支給を県内4市が実施。事務量の増加や返納が生じる場合があり、他市も参考に調査・研究していく。

熊本地震の教訓
生かした防災対策を

問 県は想定被害者の1日分の食料備蓄目標を持っている

市長の考えは。

答 小中一貫校はメリットがある反面、課題も多数あるという報告もある。今後も十分な調査研究が必要と考える。

再発言 保護者や地域の方々との意見交換やきめ細かく情報提供も行いながら取り組んでいただきたい。

これからの100年に
向け元気と活気を

問 市制100周年は、本市を市内外にアピールする絶好のチャンスと思うが、明治日本

が、本市の備蓄状況はどうか。

答 平成33年度までに9,000食を確保する予定だが、現在約5,000食を保有している。

新栄町駅前地区
再開発事業は慎重に

問 計画は西鉄駅東側との回遊性が弱い。100億円以上の計画であり、費用対効果の検討が必要だと思うがどうか。

答 現在は駅前と東側をつなぐ計画になっていない。まずは事業を進め、その地域の活性化を第一に考えたい。

まちづくりの観点で
小中一貫校の実現を

問 松原中・大正小・中友小の小中一貫校は、市民の要望もあり、まちづくりの観点からも捉えるべき課題と思うが、

の産業革命遺産を構成する8県11市が集う会合などの働きかけを本市からできないか。

答 開催市自体や遺産の理解を増進してもらう意味でも、例えば持ち回りで開催するような働きかけを行いたい。

問 大蛇山は、音と光と動きの三要素が揃った素晴らしいまつり。今までの100年と今後の100年を掛け、1万人総踊りを実現し、盛り上げては。

答 市民がつくり上げるまつりとして昇華させることは必要。達成に向けて努力したい。

次世代に選ばれる
まちになるための方策

問 ふるさと納税の返礼品を8月からリニューアルしたが、その内容と効果は。

答 今回のリニューアルでは、

10品目から81品目へ大幅に品数をふやした。寄附実績は、7月は8人の方より19万円の寄附が、8月は357人の方々から473万5,000円と増えており、昨年同月比でも約10倍となっていることから、一定の効果があつたと考えている。

問 地域おこし協力隊員の今後の活用予定は。

答 市外の人材を受け入れ、その定住・定着を図ることで地域の活性化を図り、地域力の維持・強化が期待できることから、今後は庁内各部でも

幅広く活用を検討していく。

交流を通した人づくりで
持続発展可能なまちへ

問 本市のESDの教育を通じた交流の実態は。

答 各学校においてESDを通じた学校間交流を進めており、全国さまざまな地域との交流が広がってきている。

問 ESDの推進に対する市長の見解は。

答 様々な部署で同様の考え方を根底に持って事業を進める事が肝要だと考えている。